

平成30年6月25日

宮城県各公立小中学校長様  
宮城県立各特別支援学校長様  
仙台市立小中学校長様  
仙台市立青陵中等教育学校長様  
仙台市立鶴谷特別支援学校長様  
宮城教育大学附属小中学校長様  
宮城教育大学附属特別支援学校長様  
宮城県内私立小中学校長様

国立大学法人東北大学  
大学院工学研究科長 長 坂 徹 也  
(公印省略)

平成30年度東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー開催について  
(案内)

向暑の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、『東北大学サイエンスキャンパス』プロジェクトについてご理解・ご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、東北大学サイエンスキャンパスでは、今年度も宮城県内・仙台市内の小学校、中学校の教職員の皆様にご参加をいただき、その時々々の教育課題や先端的研究について理解を深めていただく機会として下記のとおり教育セミナーを開催いたします。

つきましては貴職下教職員のご参加についてご高配を賜りますようご案内申し上げます。

記

- 1 主 催 東北大学大学院工学研究科・工学部
- 2 後 援 宮城県教育委員会  
仙台市教育委員会
- 3 日 時 平成30年8月2日(木) 13:30~16:30
- 4 開催場所 東北大学工学研究科・工学部サイエンスキャンパスホール  
(東北大学青葉山キャンパス中央：仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-04)
- 5 内 容 13:00~ 受付  
13:30~ セミナー開講式  
・東北大学サイエンスキャンパスプロジェクト紹介  
13:35~ 講演  
・演題 『先生のための「はじめてのプログラミング」  
~なにからどうやる?~』  
・講師 宮城教育大学技術教育講座 准教授 安藤明伸 氏  
15:20~ 実習  
・テーマ 『プログラミングの実際』  
・講師 宮城教育大学技術教育講座 准教授 安藤明伸 氏  
16:20~ セミナー閉講式
- 6 対象・人数 小中高等学校教職員50名(先着順)
- 7 申込み方法 7月20日(金)までファックス(022-795-7041)で申し込みください。  
または、東北大学サイエンスキャンパスHP(教育セミナーのページ)より申し込みください。  
<https://www.ip.eng.tohoku.ac.jp/campus/>
- 8 その他 ・持参可能な方はノートパソコン(要WiFi内蔵)をご持参下さい。  
・駐車可能ですが、できるだけ地下鉄東西線(青葉山駅下車)を利用してください。
- 9 問い合わせ 東北大学工学研究科工学教育院社会連携担当 石垣  
電話 022(795)5047 Email tsc@grp.tohoku.ac.jp

## 【講師ご紹介】



国立大学法人 宮城教育大学  
技術教育講座 准教授 安藤明伸(あんどうあきのぶ)氏 博士(学術)  
昭和48年生まれ 現在45歳

16年前まで札幌市で中学校技術科教員として勤務されたのち、宮城教育大学へ奉職。  
技術教育講座准教授として、教育工学的な立場から情報教育、技術教育の指導、研究に従事されています。

スマートフォン、タブレットなどのモバイルデバイスの教育利用や、授業改善・分析手法および分析システムの開発、情報モラル、そしてプログラミング教育に関する教材や指導法について幅広く研究されており、無料電子黒板アプリ「miyagiTouch(ミヤギタッチ)」(宮城県教育委員会公式認定)も開発されています。

昨年度の講演、指導助言の回数は50回余りと、各方面で先駆的にご活躍され多忙なご日常をお過ごしになられています。

『学びとコンピュータハンドブック』、『アクティブラーニングで深める技術科教育』、『開隆堂 中学校技術分野 教科書』など、多くを著わされており、最近は学習指導要領の解説に関する書籍を多数出版、執筆されています。

- また、現在
- ・中央教育審議会 情報ワーキンググループ委員
  - ・文部科学省 プログラミング教育実践ガイドの作成委員
  - ・文部科学省 IE-school 事業 企画運営委員会 主査
  - ・文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー
  - ・仙台市プログラミング教育部会アドバイザー

などの要職を務めておられます。

## 【講演・実技内容】

演 題： 先生のための「はじめてのプログラミング」～なにかからどうやる？～

既に新学習指導要領の移行期間を迎えている中、必修となったプログラミング教育についてイメージが湧かない、何をすれば良いのか分からない、指導できる自信がない等の不安や不満はありませんか？このセミナーでは、小学校プログラミング教育の手引きをもとに授業への導入についての説明のあと、2種類のプログラミング言語を体験し、授業で具体的に利用するイメージをつかめることをねらいとして実施いたします。

2020年度からのプログラミング教育の導入に際し、先生方がプログラミング教育に対して抱いている不安を解消し、安心して取り組んでいただくために小学校段階におけるプログラミング教育についての基本的な考え方などを、より具体的にかつ分かりやすく話していただくことで、プログラミング教育のねらいやどのような授業が期待されているのかをイメージしていただく機会といたします。実習時に使用するプログラミング言語は、『Scratch』と『micro:bit』の予定です。

発第 号  
平成30年 月 日

国立大学法人東北大学  
大学院工学研究科長 長坂徹也 宛て

学校名

校長名



平成30年度東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー参加について  
(申込み)

このことについて、下記の通り申込みいたします。

記

東北大学サイエンスキャンパス教育セミナー参加申込書		
FAX送付先：022（795）7041		
(ふりがな) 参加者名		
所属校名		
所属校電話番号		
メールアドレス		
パソコンの持参	① ノートパソコンを持参する    ② ノートパソコンの貸与を希望する	
担当学年	担当教科	
利用交通機関	地下鉄東西線 ・ 自家用車(運転) ・ 自家用車(相乗り)	
当日に質問したい 事項等があれば記 入してください。		

※ このA4サイズのまま、切り取らずに7月20日(金)までに送信してください。